

# 専念寺通信

7月号 (NO.167) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

今年の梅雨は、豪雨、雷や雹(ひょう)をともなう大量の雨が特徴のようで、各地で交通機関が麻痺したり停電などの被害がでています。気温差の激しい季節の変わり目、皆さまおかわりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

## ☆盂蘭盆会

今年も夏のお盆の季節がやって参りました。日本書紀にも記述のあるという仏教行事のひとつの盂蘭盆会は、東京だけが旧暦のまま7月に行なわれ、そのほかの地方では新暦により、8月です。

お盆のころには亡くなった人の魂が還ってくると言われ、日本各地で先祖の御霊を迎える行事が行なわれます。四国の徳島の阿波踊りに代表される盆踊りは全国各地で行なわれます。九州長崎の精霊流し、そして日本で一番大きな美しい送り火、京都の大文字焼きなど、亡くなった人の霊を迎えたり、送ったりする行事は受け継がれています。入りの日に迎え火を焚き、明けの日に送り火を焚く、という



習慣は、都会の住宅密集地ではできなくなりました。精霊棚を用意し、そこにマコモのゴザを敷いて、そのうえにほおずき、夏の野菜や果物、そうめんなどをお供えします。

きゅうりやなすに

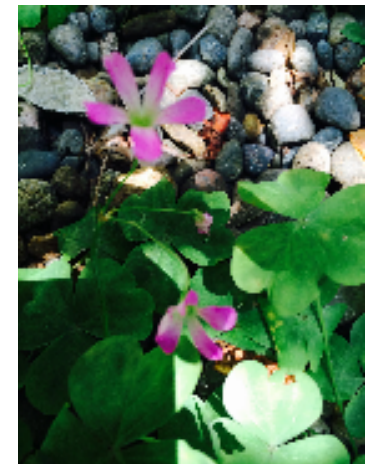
きびがらで脚をつけて牛や馬のかたちにしたお供えものを見かけることがあります。これは、亡くなった人の魂が、こちらに還ってくる時には脚の早い馬に乗って早く来てほしい、また、あちら側に戻っていく時は脚の遅い牛に乗って、ゆっくりゆっくり戻ってほしい、という私たちの祖先の願いが込められてできたものです。



専念寺では、毎年、新盆を迎えられる檀家さまのための合同供養をおこなっています。今年は7月13日の11時から専念寺の本堂でとりおこなわせていただきます。新盆を迎えられる檀家さまには、お電話にてご案内申しあげました。

墓地の雑巾を新しくして、足りなかったひしゃくをふやして、そして書院にあがる階段を設置し、お茶のご用意をして、皆さまのご来寺をお待ち申しあげております。

写真は笹竹の繁った永代供養塔、この場所は涼しい気持ちの良い風がいつも感じられます。右の写真は墓地に咲いている可憐な花です。上はつゆ草の系統でしょうか、下はクローバーの花のようです。紫陽花が終わると暑い夏のあいだ、墓地の花は少なくなります。けれど小さな花が思いがけないところに咲いていて、心をなごませてくれます。暑い季節に向かいます。どうぞ皆さまお身体を大切にお過ごしください。



平成26年7月1日 大黒